

令和3年度有田市立箕島小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情をはぐくむ

保護者・地域の願い

- 学力を身につけた子に
- 命を大切に、安全に過ごす子に
- 元気な挨拶ができ思いやりのある子に
- ふるさとを愛する子に

【学校教育目標】 学び合う学校

【めざす児童像】

- ・よく考える子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・きたえる子ども

前年度の学校評価

「箕小授業スタイル」が定着し、子どもが見通しを持って授業を受けている。一人一人の子どもを理解し、指導に生かすと共に、子ども同士の対話を工夫していろいろな人と関わりが持てるようにする必要がある。

児童（生徒）の実態

- 明るく、課題に真面目に取り組む。
- 子どもたちが主体になって行事を計画できるようになってきた。
- 基礎・基本の力は概ねついているが、活用する力が依然弱い。

重点目標	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	家庭・地域との連携
	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の確かな定着 ◎主体的・対話的で、考えを深める授業の推進 ○読書活動の推進 ○家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの良さを認め合い思いやりのある集団づくり ○いじめのない人間関係の構築 ◎道徳教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力の向上 ○基本的生活習慣の確立 ○危機管理能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭や地域、中学校区での保幼小中との連携 ◎教育活動に関する情報発信 ○地域の資源活用の推進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字・計算力の確認テストを実施する。 ・学習ルールを共有し発達段階に応じたノート指導を行う。 ◎主体的・対話的で考えを深める授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・「箕島小の学習スタイル」を基本に取り組み。 ・授業の工夫・改善を行う。 ○学校司書と連携し、図書を授業に生かすとともに読書量を増やす。 ○学年に応じた家庭学習時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを主体とした活動の重視 <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動における児童の自主性を育てる。 ・あいさつ運動を推進する。 ○子どもの居場所のある学級経営 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを各学期実施する。 ・いじめの未然防止、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・個々のニーズに合わせた特別支援教育を推進する。 ◎道徳の授業の工夫と公開を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力づくりに取り組める工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や体育的行事に目あてをもって取り組ませ、体力向上と自己肯定感を高める。 ○基本的生活習慣の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケートを計画的に実施し、定着を推進する。 ・食育や健康教育を推進する。 ○危機管理能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、交通安全教室、登下校指導の実施、 ・安全点検、安全教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会の有効活用 ◎学校情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・各種便りの発行やHPにおいて積極的に発信する。 ・授業や行事、取組等を公開する。 ○交流・体験の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小中が連携して情報交流、合同授業、授業や保育の参観を実施する。 ・地域の広い世代との交流の充実を図る。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字計算の確認テストの達成（低学年90%、中・高学年85%以上） ・授業がよくわかると感じる児童（85%以上） ・学期に1回以上は司書と連携した取組を行う。 ・学年に応じた家庭学習時間に取り組む（80%以上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体となった行事の企画や運営を年1回以上行う。 ・学校が楽しいと感じる児童（85%以上） ・道徳授業公開を各学級1回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力アッププランに基づいて実践した教員（85%以上） ・早寝・早起き・朝ごはんの習慣に取り組んだ児童（85%以上） ・学期に1回以上の安全点検、年に複数回の避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の素材や人材を活用した教育活動を企画した教員（85%以上） ・学校の情報を伝えていると感じる保護者（85%以上） ・地域と連携した教育活動を行っていると感じる保護者（85%以上）

◎…特に重点的に取り組むこと